

# Mizuho Daily Market Report

2023/2/13

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	130.47	131.36	▲0.23	+0.17
EUR	1.0742	1.0678	▲0.0062	▲0.0117
AUD	0.6942	0.6917	▲0.0019	▲0.0006
SGD	1.3251	1.3303	+0.0046	+0.0068
CNY	6.7984	6.8145	+0.0281	+0.0165
MYR	4.3282	4.3342	+0.0177	+0.0755
THB	33.63	33.79	+0.32	+0.83
IDR	15134	15134	+39	+241
PHP	54.42	54.43	▲0.04	+0.75
INR	82.40	82.50	▲0.02	+0.66

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.732%	+7.4 bp	+20.7 bp
日本(10年)	0.502%	+0.3 bp	+0.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.364%	+6.1 bp	+17.1 bp
オーストラリア(5年)	3.504%	+6.6 bp	+39.0 bp
シンガポール(5年)	2.936%	+4.5 bp	+15.3 bp
中国(5年)	2.686%	+0.8 bp	+0.9 bp
マレーシア(5年)	3.567%	+5.5 bp	+11.8 bp
タイ(5年)	2.091%	+2.6 bp	+3.1 bp
インドネシア(5年)	6.361%	+9.7 bp	+10.5 bp
フィリピン(5年)	5.918%	▲15.6 bp	+14.0 bp
インド(5年)	7.284%	+3.0 bp	+17.7 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,869.27	+0.5%	▲0.2%
N225(日本)	27,670.98	+0.3%	+0.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,197.94	▲1.2%	▲1.4%
ASX(オーストラリア)	4,312.89	▲0.5%	▲0.6%
FTSTI(シンガポール)	3,360.69	+0.0%	▲0.7%
SSEC(中国)	3,260.67	▲0.3%	▲0.1%
KLSE(マレーシア)	1,474.59	+0.7%	▲1.1%
SETI(タイ)	1,664.57	▲0.3%	▲1.4%
JKSE(インドネシア)	6,880.329	▲0.2%	▲0.5%
PSE(フィリピン)	6,876.79	+0.5%	▲2.1%
SENSEX(インド)	60,682.70	▲0.2%	▲0.3%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	272.67	+0.8%	+2.4%
金	1,865.57	+0.2%	+0.0%
原油(WTI)	79.72	+2.1%	+8.6%
銅	8,828.76	▲1.4%	▲1.4%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	130.00	—	132.20
EUR/USD	1.0640	—	1.0790
AUD/USD	0.6880	—	0.7070
USD/SGD	1.3180	—	1.3300
USD/CNY	6.7640	—	6.8180
USD/MYR	4.2500	—	4.3250
USD/THB	33.28	—	33.90
USD/IDR	14950	—	15120
USD/PHP	54.40	—	54.90
USD/INR	82.40	—	83.30

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は131円台半ばでオープン。五・十日とあって、実需の売り買いが交錯し、仲値後にはドル買い優勢となり131円台後半まで上昇する場面もあったが、高値圏ではドル売りも相応に見られ値を戻した。その後は、翌週の米1月CPIを控え、131円台後半で方向感を欠く展開が続き、131円台半ばで海外時間に渡った。アジア通貨は概ね軟調ながら、フィリピンペソはインフレ高進を受けた中銀のタカ派トーンが意識され相対的に堅調。

海外市場のドル円は岸田総理大臣が次期日銀総裁に植田氏を起用するとの報道があると一時129円台後半まで急落。しかし、同氏がその後記者団に対して「現状では金融緩和の継続が必要だ」と述べたことが市場に伝わると一転して円が売られ一時131円台半ばまで急反発、NY朝方に130円台半ばまで下押しする場面もあったが、その後は米長期金利上昇を意識したドル買いが優勢となり131円台を回復。ミシガン大業が発表した1年先の期待インフレ率が予想を上回ったことも米金利上昇のサポートとなり、ドル買いの流れは止まらず。その後も米長期金利が3.75%付近に迫る動きを見せる中、ドル円はサポートされ、日銀総裁人事を巡るヘッドラインが伝わる前の水準まで値を戻した。

## 【金利】

米金利は小幅上昇、イールドカーブはスティープ化した。NY朝方発表の2月ミシガン大学消費はマインド指数が全体的に強めの数字となったことで、利上げ継続観測が強まり債券売りが先行。またハーカー・フィラデルフィア連銀総裁が、政策金利が5%に到達した後、据え置き期間が必要との見解を示したことも、金利上昇の材料となった。

## 【予想】

本日のドル円も131円台半ばを中心としたもみ合い継続を予想。火曜日に日銀新総裁人事案の国会への提示、米CPIを控え、様子見ムードが強くなるだろう。強い結果となった月初の米雇用統計後にFRB高官からタカ派発言が相次いでおり、市場で織り込むターミナルレートも5.2%近くまで上昇しているが、CPIについてはそれなりに警戒感も強まっている。

## 【本日の予定】

(日本) 流動性供給入札  
(アジア) 1月 NZ ハフォーマンス・サービス指数  
(アジア) 1月 インド CPI  
(アジア) 中国 MLF(1Y)  
(欧州) ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)  
(欧州) 独 国債入札(6M)  
(米国) ホウマンFRB理事講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。